

リハ・エール

Vol. 3 3
2024年6月

注目!!



令和6年度 京都市地域リハビリテーション 推進研修のご案内!!!

障害のある方や高齢者が住み慣れた地域で生活していくために、必要な知識や介護技術の向上を目的として、京都市内で障害のある方や高齢者を支援されている方々を対象に、毎年さまざまなテーマで研修（講座と実習）を開催しています。

7月~12月
に開催

25の講座

発達障害、精神障害、医療的ケア、
難病、高次脳機能障害、
高齢者支援、セルフケアなど

昨年より講座数が
増えました!

10の実習

移乗動作、集団体操、
個別運動、リフトの使い方
ベッド上移動・起き上がりなど

リフトの使い方が
復活しました!



建物・研修室が
新しくなりました!!!
会場は広く!!
音響設備が
良くなりました!!!



地域ガエルと申します。「地域に帰る」
（地域リハビリテーションの推進）をモットーにしている、
地域リハビリテーション推進センターPRキャラクターです!



以下の二次元コードから受講の申込みができます。詳しい情報はセンターホームページでご確認ください。



講座申込
フォーム
(7月~9月)

京都市地域リハ推進研修 検索



センター
ホームページ



実習申込
フォーム
(会場型)



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

京都市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



障害者支援施設の訓練プログラム紹介

今年1月に“COCO・てらす”の4、5階に移転しました障害者支援施設の訓練プログラムの一部をご紹介します。



【個別理学療法】

機能訓練を目的に施設を利用されている方を対象に、週1回～2回程度、個別訓練を行っています。

それぞれの身体状況を評価し個々の目標に向けて、評価期・訓練期・地域生活や社会への移行期など、それぞれの時期に合わせた訓練を行っています。

理学療法では、主に身体機能訓練、基本動作訓練を中心に行います。

1 訓練を行う場所

理学療法室



主にベッドやマット、平行棒などを使用して訓練をしています。
固定式自転車や乗馬機器などのフィットネスマシンもあります。

体育館



ボールを使用したダイナミックな動きや長距離歩行訓練を行うこともあります。

屋上グラウンド



スロープや段差、砂利道、溝などがあり、屋外を想定した応用的な歩行訓練を行います。

屋外

センター周辺で移動訓練を行うこともあります。

2 実際の訓練場面



関節可動域の維持・拡大や
筋肉の緊張を緩めるために
ストレッチを行います。

機能訓練



肩関節や股関節周囲筋の活動を高
める運動です。



屋外の行動範囲を広げる
ために電動車いすの練習
をすることもあります。



訓練用階段で
練習した後は、
屋上グラウンド
で段差の練習な
ども行います。

動作訓練



地域生活に向けて



スーパーの店内で、
カートを使用して
買い物の練習をす
ることもあります。



京都市地域リハビリテーション推進センター 障害者支援施設 概要

- ◆ 利用対象者：18歳以上で高次脳機能障害を有する方
- ◆ 利用定員：入所又は通所での自立訓練（機能訓練 25名、生活訓練 15名。うち施設入所支援 20名。短期入所も行っています。）
- ◆ 利用期間：個々の課題や目標に応じて、機能訓練は最長1年6か月、生活訓練は最長2年
- ◆ お問い合わせ：京都市高次脳機能障害者支援センター
TEL075-925-6256 FAX075-925-6472



高次脳機能障害 当事者・家族交流会

京都市高次脳機能障害者支援センターでは、高次脳機能障害のある方やそのご家族が、交流や情報交換を行うことができる場所として、「当事者・家族交流会」を開催しています。お互いの経験からいろいろなことを学び合ったり、支え合ったりできる場となっています。

【日時】 毎月第2金曜日（祝日を除く） 午前10時～11時30分

【場所】 COCO・てらす 4階 研修室1

参加者の声

同じような経験をしたからこそ、わかってもらえた。

他の参加者から役立つ情報をもらえた。

困っていることや悩みを話せてよかった。

自分も当初困ったので、他の人の役に立てたらいいな。



高次脳機能障害 作業体験プログラム

高次脳機能障害の診断を受けた方で、これから仕事をしたいと考えておられる方を対象に、模擬的な職場場面でいろいろな作業や人との関わりを通して、高次脳機能障害の仕事への影響や、どんな作業が得意か、苦手か、どんな工夫をすればよいか等を把握し、今後の働き方について、一緒に考えていくプログラムです。

【日時】 毎週木曜日 午前9:30～11:30

【期間】 約2か月（8回程度まで）



ピッキング、袋詰め、仕分け、データ入力、電話対応、清掃などの作業を行います。



職員との振り返りを行い、作業の工夫すべき点、次回の目標について確認します。



お気軽にお問い合わせください。

京都市高次脳機能障害者支援センター

☎ 075-925-6256

ホームページで各事業のチラシをご覧いただけます。



ホームページ

リハ✂️ール第33号（令和6年6月発行）
京都市印刷物 第 064281 号

発行：京都市地域リハビリテーション推進センター
〒604-8845
京都市中京区壬生東高田町1番地の20